

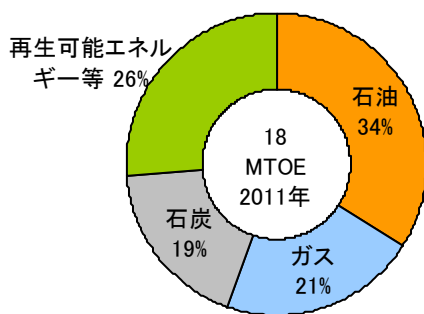
2-8 デンマーク

1. サマリー

1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2011年) : 18 百万 TOE (日本の 0.04 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2011年) : 3.15 TOE (日本の約 0.87 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2011年) : 123%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 47.2 百万 CO₂ 換算 ton (日本の約 4.1%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2009年) : 8.48 CO₂ 換算 ton (日本の約 94.5%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2011年末) : 原油 10.0 年、天然ガス 6.5 年

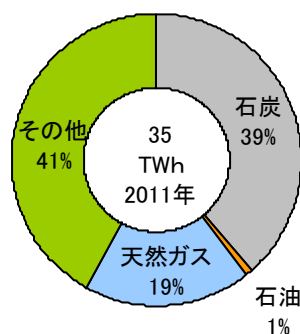
一次エネルギー供給構成 (2011年)



COUNTRY: Denmark

(出所) IEA, Energy Balances of OECD Countries 2012 Edition

発電電力量構成 (2011年)



COUNTRY: Denmark

(出所) IEA, Energy Balances of OECD Countries 2012 Edition

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- デンマークのエネルギー政策担当機関は、エネルギー庁 (Energistyrelsen) である。

(2) 基本政策

- 2005年に発表された「エネルギー戦略 2025」では、安定供給、気候変動、経済成長という長期的な課題を達成するため、①省エネ促進と再生可能エネルギーの拡大、②気候変動対策、③エネルギー市場の機能強化、④エネルギー効率向上と再生可能エネルギーに関する新技術開発、に取り組むとしている。
- 2011年2月24日に発表された「Energy Strategy 2050」によれば、2050年までに石炭・石油・天然ガスといった化石燃料を使用せず、再生可能エネルギーで全て賄う計画である。

(3) 最近の動向

- 2012年3月、2050年までに輸送部門を含めた全エネルギーを再生可能エネルギーで賄うための至近の取組を定めた「ACCELERATING GREEN ENERGY TOWARDS 2020」が定められた。この取組では、2020年までに、①最終エネルギー消費の35%を再生可能エネルギーで賄う、②電力供給の50%を風力で賄う、③2010年比7.6%のエネルギー消費削減、④1990年比34%の温室効果ガス排出量削減、の達成を目指している。

3. 日本とエネルギー分野における関係

- デンマークの石油・ガス自給率は100%を越えており、輸出も行っているが、ドイツ、スウェーデン、イギリスといった近隣諸国への輸出が中心であり、日本とのエネルギー分野における輸出入の関係はほとんどない。
- デンマークのVestas社は風力発電で世界最大のシェアを誇っており、2012年3月末時点では日本国内でもメーカー別導入量のシェアは最大である。

2. 主要エネルギー指標

(2011 年)

(1)	一次エネルギー供給量	18 MTOE
(2)	一人当たりの一次エネルギー供給	3.15 TOE/人
(3)	GDP 当たりの一次エネルギー供給	0.07 TOE/千\$
(4)	エネルギー自給率	123 %
(5)	エネルギー起源 CO ₂ 排出量	47.02 百万 CO ₂ 換算 ton
(6)	一人当たりエネルギー起源 CO ₂ 排出量	8.48 CO ₂ 換算 ton/人
(7)	エネルギー源別構成率	
	石炭	19 %
	石油	34 %
	ガス	21 %
	原子力	0 %
	水力	0 %
	再生可能エネルギー等	26 %
(8)	エネルギーの輸入依存度	-23 %
(9)	石油の輸入依存度	-93 %
(10)	輸入原油の中東依存度	0 %
(11)	原油輸入先	
	第1位	ノルウェー
	第2位	ロシア
	第3位	イギリス

(出所) : (1)~(4) および (7)~(9) は IEA, Energy Balances of OECD Countries, 2012 Edition.

(5)~(6) は IEA, CO₂ Emissions from Fuel Combustion, 2012 Edition

(10)~(11) は IEA, OIL INFORMATION, 2012 edition